

行き過ぎを狙う

FX

1分足の
レンジで
勝負!

か い り

乖離トレード

乖離

勢い

チャートパターン

で見極める

【著者】春香

 PanRolling

序章

◎ある日（2011年2月8日）のトレード

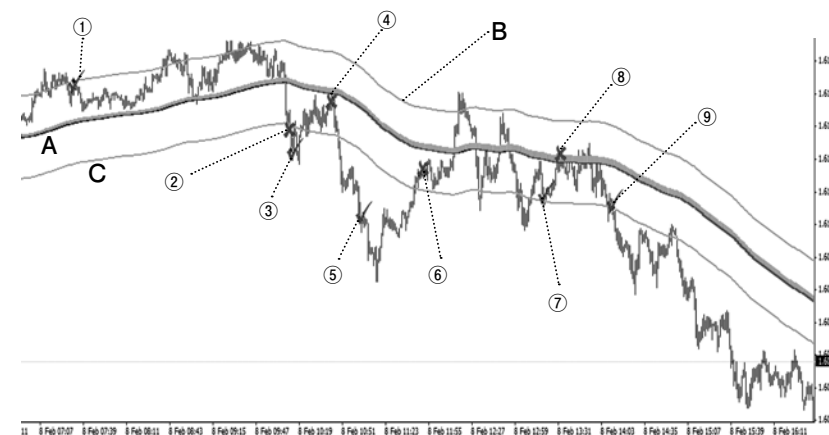
この日はお昼過ぎからのトレードでした。トータル5回のトレードで合計60 pips 強の利益となりました。次の日まで持ち越しになってしまったポジションもありましたが、実際にチャートを見ていた時間は1時間半程度です。

現在の私の手法は逆張りです。1分足で短期的な行き過ぎを狙っています。次ページの図（序-1、序-2）を見ていただくとわかるように、Aのラインから乖離したところ(BのラインとCのラインにタッチしたところ)でエントリーして、再びAのラインに戻ってくるのを待つ手法です。このやり方を本書では解説していきます。ちなみに、以下はこの日の取引明細です。

時間	取引種別	数量	通貨ペア	Price	S/L:決済逆...
2011.02.08 14:13	buy	0.80	gbpusd	⑨ 1.61093	1.60086
2011.02.08 13:21	buy	0.80	gbpusd	⑦ 1.61119	1.59369
2011.02.08 10:57	buy	1.00	gbpusd	⑤ 1.61194	1.60197
2011.02.08 10:14	buy	0.80	gbpusd	③ 1.61274	1.59524
2011.02.08 07:33	sell	0.80	gbpusd	① 1.61493	1.63243

T/P:決済指値	時間	Price	スワップ	損益
1.61296	2011.02.09 17:37	⑩ 1.61147	-14	3 560
1.61276	2011.02.08 13:31	⑧ 1.61276	0	10 306
1.61355	2011.02.08 12:16	⑥ 1.61355	0	13 222
1.61450	2011.02.08 10:43	④ 1.61450	0	11 550
1.61344	2011.02.08 10:10	② 1.61378	0	7 553

◆序-1



注) 本書で紹介するチャートの時間は FxPro の表示に基づいています

◆序-2



- ① 1回目のエントリー
- ② 1回目のエグジット
- ③ 2回目のエントリー
- ④ 2回目のエグジット
- ⑤ 3回目のエントリー
- ⑥ 3回目のエグジット
- ⑦ 4回目のエントリー
- ⑧ 4回目のエグジット
- ⑨ 5回目のエントリー
- ⑩ 5回目のエグジット

◎私とFXとの出会い～18歳のチャレンジ～

1) 「私にもできるかも」と思って飛び込んだFXの世界

私がFXと初めて出会ったのは18歳になりたてのころ。その当時の私といえば、どこかの企業に就職しているわけでもなく、かといって、将来の夢というか、何かやりたいことを抱えているわけでもなく、これから何を仕事にしようかといういろいろ悩み、インテリアのデザインにチャレンジしてみたり、自分のやりたいことを模索している段階でした。

「私にできることは何だろう」

「私がやりたいことは何だろう」

このように、自分の将来について考えない日はないほどでした。

やりたいことを探しながら、ふと自分自身を振り返ってみると、昔から向上心だけは強かったこと、人に指図されることや、まわりの人と同じことをするのが苦手な人間だったことを思い出しました。

実は私、小学生のときに友達と学校をサボってディズニーランドに遊びに行ってしまったことがあります。それも、連絡帳に欠席連絡を自分で書いて、ランドセルを背負って学校に行くふりをして家を出て、ランドセルの中にはお出かけ用のバッグを入れて……。そして、駅のコインロッカーにランドセルをしまい、中からバッグを取り出し、そのまま電車に乗ってディズニーランドに向かったのです。昔から少し“飛んだ子供”だったようです（苦笑）。

平日ですから、ディズニーランドはとても空いていました。同じアトラクションに何度も何度も乗ったことを覚えています。帰りにはお土産をたくさん買って、コインロッカーに入れたランドセルの中に隠

して帰りました。

もちろん、学校を休むと先生から家にかかってくるから、それでバレてしまって校長室行きです。こっぴどく怒られました。今となっては良い思い出ですけどね。

でも、このとき、私はどうして怒られているのかがわからなかったんです。「誰かに迷惑をかけているわけでもないのに、なぜ怒られないといけないの？」と思っていたのです。学生は決まった時間に学校に行くのがルールだと言われても、そんなルールになぜ従わなくてはいけないのかが理解できませんでした。まあ、当時は完全におかしい子か、不良だと思われていたのでしょうね。

それでも、私は“理由”を自分で理解できないルールには従わない子供でした。でも周りの人たちは、その誰が作ったのかわからない、必要があるのかさえわからないルールや固定観念をおかしいとも思わないのです。そのことにとっても疑問を感じていました。ですから、私はそれを理解できない自分がとても頭の悪い子なのか、それこそ、必要ない存在なのかと、15歳くらいまでは真剣に思い悩んでいたほどだったのです。

小さいころからそんな感じでしたので、「私にはみんなと足並みをそろえるような普通の仕事は向いていないかも……」とも感じていました。日本では私のような人は理解されないんだと。時間の経過とともに、この思いが強くなってきましたから、「何か自分で経営&運営したい」と考えるようになってきたのもごくごく自然の流れだったのかもしれない。

ですが、何を始めるにもある程度の資金が必要です。業態によっては事務所も借りなければなりません。人を雇わなければやっていけないかもしれません。でも、実際のところ、18歳そこそこの小娘の私にはそんな資金力も、人を動かすだけの能力もなかったのです。それが悲しいことに現実でした。

そういう混沌とした思いを抱きつつも、たまたま知り合いだった経営者の方たちと話す機会を増やしていくと、次第に“投資”という言葉聞くようになってきました、それも何度も何度も。でも、私には投資といわれても何のことやらで、まったく話についていけなかったのです。

「私もその会話の中に入りたい」

こう強く思って叩いた扉が投資の世界の“それ”だったのです。

当時、投資といえば「株」というイメージしかありませんでした。そこで早速、「株」を始めようと考えたのですが、ひとつの銘柄を買うにしても資金が多く必要なこと、しかも、銘柄が多すぎて迷ってしまったことなどから、あっという間に断念しました。ここでも、資金力のなさを恨めしく思いました。「ある程度の資金がないと、(投資の)入口にも立たせてもらえない」と落ち込みました。

そこで、株式投資はあきらめて、ほかにも投資といえるものがないか探していたところ、「FX」の存在を知ったのです。

実際、知り合いが2～3人ほどFXに取り組んでいました。自動売買ソフトを自作して、運用されている方、スワップでコツコツ勝っている方、すごい額の利益を出している方もいました。

もちろん、すぐに興味がわいてきたのは言うまでもありません。特に衝撃だったのは「FXの勝ち方はひとつではない」ということを学べたことでした。

早速、FXについて調べてみると、証拠金が数万円から始められることや、24時間取引ができることなどもわかり、「私でもできるかな～」と、簡単に思ってしまったわけです。

「FXなら私にもできそうかな～」

あるとき知り合いにそういう話をしたことがあります。でもそのときは、私が本気だったことをわかってもらえなかったのか、「春ちゃんには無理だろ～」と一蹴されてしまいました。

その言葉がさらに私の血を騒がせました。基本は負けず嫌いですから、自分がやりたいと思っていることを「無理だ」と言われて、余計にやりたくなくなってしまったのです。

もちろん、やけになったわけではありません。メリットとデメリットはきちんと考えました。このときは「もし失敗したら……」について考えました。

例えば、何か事業をしますとします。でも、失敗したら、私の会社で働いてくれた人に迷惑がかかります。自分自身も貯金程度でまかなえるような損では済みません。その点、FXならば、10万円で勝負して失敗したとしても、その程度のケガであれば復活できるのではないかと考えました。FXなら、私でも取れる範囲のリスクではないかと思ったのです。

そこで、一大決意！ 貯金していたお金を元手にFXを始めみることにしました。今思うと、貯金は『FXというよりも自分に賭けた！！』というほうが正しかったのかもしれない。自分に賭けるくらいに真剣な気持ちで取り組めば、きっと利益を生み出せると思ったからです。

でも……。現実には甘くはなかったのです。

2) 資金がどんどん減っていく……

当時、レバレッジ規制はなく、日本はもちろん、海外のFX業者を使ってもレバレッジ200～400倍で取引ができたので、小さな額からスタートすることが可能でした。

さすがに貯金のすべてを一気に突っ込む勇気はなかったので、まず

は5万円を入金して取引を開始。「えいっ」と、ドル円を買ってみました。本当にお恥ずかしい話ですが、業界用語やFXの仕組みについてもまったく知識がない状態で始めましたので戸惑うことだらけでした。そして、ふと気づくと、5万円あったはずの口座残高が6000円ほどに減っていたのです。

パソコンの画面に表示されている金額の意味がわからず、FX業者



入金額口座残高5万円のはずだったのに、気がつくと6000円に……。資金がみるみる減っていく……

に次のような質問をしてしまったほど無知だったのです。

「口座残高が少なくなっているんですけど、どうしてですか？」

今思い出すと、穴があいたら入りたくらい恥ずかしい話です。

その後も、懲りずに再び5万円を入金しましたが、何が何だかわからないままに何度も何度もロスカットになりました。結局、私の初めての投資は大惨敗で終わることになったのです。本当に何度ロスカットになったことか……。知識もろくにないまま始めましたから、自業自得ではあるのですが、あまりのショックで食欲もなくなるほど参りました。

「私にもできるかも」という甘い考えは、このときすでに死んでいて、「もっともっと必死でFXに取り組まないと資金が全部なくなる!」、もしくは「さらに必死に取り組んでも本当に私にできるだろうか?」という不安に変わっていました。

ただ、ひとつだけ、「正解だったな」と思ったことがあります。それは、自分の貯金のすべてをFXにつぎ込まなかったことです。少しずつ分けて入金したことが、今の私の始まりだと思っています。このとき、貯金を全額入れていたら、きっと今ごろはFXなんてやっていないと思いますから。

このときの失敗から言えることは、最初から大きな金額で勝負しないということです。いきなり大負けすることが頭で考えているよりも多いFXの世界ですから、ロスカットに何度遭っても大丈夫のように、自分の余裕資金の10分の1くらいから始めてみるのが正解だと思います。

◎試行錯誤の連続の中で見えてきたもの

1) 引きこもり時代の始まり

先ほどもお話ししたように、私は負けず嫌いです。それは、FXにおいても同じです。ですから、失ったお金を取り戻そうと、心機一転、さらにFXにのめりこむようになっていきます。

FXにはさまざまな「手法」がありますが、私の場合、「手法」よりも先に知ったのが「自動売買ソフト」でした。きっかけは知り合いが使っていたこと、それもかなり勝っているらしいという話を聞いていたので、私もその自動売買ソフトなるものを使ってみることにしたのです。

FXの基本を何も知らずに、自動で売り買いされるチャート画面をただただ眺める。「楽だな～」と思いました。そして、幸運なことに、最初のころは大きく勝てることも確かにあったのです。

でも、うまい話は続きませんでした。私は、自分のミスで失敗していくのです。どういうことかということ、売買サインが出たとして、そのまましておけば利益になるのですが、途中で含み損が大きくなってくると、ヒヤヒヤして自分で勝手に損切りしてしまうことが多くなったのです。結局、トータル負け……。

この原因を突き詰めてみると、そのソフトのロジック、つまり「どのようなインジケーターを組み合わせるとトレードさせているのか」を知らなかったことにあると気づきました。実際、パラメーターの意味もわかりませんでしたからね。だから、不安になって自分で決済してしまっていたのです。このとき、

「何が何だかわからないものに頼るくらいなら自分で研究しよう」

と、あらためて一大決心したのです。

その日からは、来る日も来る日も私の頭の中はFXのことばかり。いろいろなインジケーターを組み合わせると試す日もあれば、トレードをしている夢を見てしまう日もありました。それも頻繁に見るようになってきました。勝てるようになるまでの1年間は、本当にFXだけに取り組んでいて、貯金を切り崩しながら、寝る時間も4時間程度、睡眠以外はずっとFXだけの生活をしていました。まさに現代で問題視されている『引きこもり』の始まりでした。

勝てるようになりたい。その一心で本もたくさん読みました。情報商材と呼ばれるものもたくさん読みました。そのほとんどはまったく使い物になりませんが、一部は考え方として使えるもの、具体的には相場の基本的な部分、ロウソク足の組み合わせやチャートパターン、また自分の手法を考えるうえでのヒントを得ることができました。このように、玉石混交の情報の中で、「これは！」と思えるものを、まずは集めていったのです。



来る日も来る日もFXのことが頭から離れなかった私は
いつしか部屋に引きこもってしまって……

当時は、勝てないと何をやる気力も起きませんでした。遊びに行くことも、買い物に行くことさえもほとんどやめて、毎日、トレードをしていました。

あれやこれやといろいろな手法を試し、失敗し、何だかわからないくらいにたくさんインジケーターを入れて、訳のわからないチャートになっているときもありました。

こういう試行錯誤を繰り返した結果、ふと気づいたのです。「買うか売るかしかないだけなのに何で難しいのだろう。もしかしたら、相場が難しいのではなくて、私自身がトレードを難しくしているのかも」と。

実際、難しい分析やファンダメンタルを気にしすぎたトレードをしても、結局、勝てないことが多いと思います。私たちはアナリストではないですから、さまざまな面から分析する必要もないし、ましてや細かい分析もいらぬのです。それは余計に頭を混乱させるだけで役に立たないと思います。

そしてまた、どんなに勝てる手法でも、手法をきちんとマスターしていないうちから、自信のあるときだけ枚数を上げて、自信のないときは枚数を下げたりしては、結局、勝てないことが多くなることにも気づきました。自分の自信というものは、個人の勝手な相場観にすぎませんからね。

そういうことを考えてからは、手法はシンプルにして、とにかく「相場の動きをちゃんと理解しよう！」と思い、チャートを見続けるように心がけたのです、来る日も来る日も。目と頭がクラクラし始めても栄養剤を飲んでチャートを見続ける、トレードし続ける。今思い返すと、「よくやった！」と、過去の自分をほめてあげたいくらい頑張ったと思います。

何かを人より早くマスターしようと思うならば、人より努力するのが一番です。だから、がむしゃらでも何でもいからとにかく頑張っ

てみたかったのです。私にとって、「チャレンジしたい」と初めて思えたものがFXでしたから。

そして、最初にたどり着いたのが「シンプル・イズ・ベスト」という考え方でした。その後、思惑とは違うトレードになった場合の「建玉操作」の重要性についても気づくようになります。これらが、現在の私のトレードの基本になっています。



長い長い道のりを経て、最終的にたどり着いたところが「シンプル・イズ・ベスト」と「建玉操作」でした

2) 結果が目に見えてくるようになってきた

試行錯誤の結果、まず「シンプル・イズ・ベスト」という考え方を自分のトレードの基本と決めてからは、負け組だった私のトレードは少しずつ変化していきました。まずは1週間トータルのパフォーマンスがプラスになり、その次の週からは日単位で負ける日が少なくなってきたのです。その次の週も、負ける日はあったものの1週間トータルでプラスになりました。

これまでは続けてプラスを出せたことがありませんでしたので、正直言うと「まさかね」と思っていました。「今はたまたま運が良いだけで、すぐにまた負け始めるんじゃないかな」という思いもありました。

でも、私の不安は実現しませんでした。その後も利益は増え続け、その月の利益が70万円になったのです。1カ月をプラスで終えたときにはFXが楽しくて楽しくてしかたありませんでした。

70万円の利益。月トータルを大きなプラスで終われたことに手ごたえを感じました。やる気もさらに出ました。「もっと稼いでやろう！」という気分にもなってきました。

と同時に、今まで勝てなかったストレスで友達とも遊びにいていかなかったり、買い物すらしていなかったりと、私くらいの年代の女性が興味持ちそうなこともせず、トレードに集中しすぎて自分自身が残念な感じになっていることにもふと気がつきました。

そこで、1週間トレードはお休みし、利益の一部の40万円程度を出金して自分のためのご褒美に使ったのです。すると、人間には欲があるからでしょうか。不思議なことに、さらにまたがんばろうという気持ちになることができました。

もちろん、ご褒美はこのときだけです。資金が増えるたびごとにたくさん使っているのは、いつになっても資金が増えないので、お買い物も少し我慢して、5カ月くらいは資金を貯め続けました。このころから建玉操作の重要性にも気づきはじめ、寝る間も惜しんでトレードし

たかひもあって、資金はうなぎのぼりに増えていきます。このときの私は怖いもの知らずで、イケイケドンドンのトレードをしていました。ただし、今考えると資金的には少々無理なトレードもしていたので、リスクになりがちなこともしっかりとわかっていました。実際に、一日で100万円負けてしまった日もあります（注:もちろん、このやり方はお勧めしませんし、本書でも紹介はしません）。ですが、元は小さい資金ですから、失敗しても、それまでに貯めたぶんの利益を投入すればよいと思い、資産が1000万円になるまではリスクを取ってでもガンガントレードすると決めたのです。

そして、8カ月くらい経過したある日のことです。普段は「一日にいくら稼いだのか」を気にならないというよりも気にしないようにしていた私がふと口座残高を見ると、800万円強まで資金が増えていたのです。

1000万円という当初の目標が近くになった途端、今度は資金をガツガツ増やすことよりも“守る”ことを優先するようになってきました。ここまでの厳しい道のりを考えると、さすがにもう資金を失いたくないですからね。

その後、順調に資金が増え続けたので、今はリスクを取るよりも資金を守りながら日々安定した利益を出すことを目指しています。この段階までは、毎月安定して稼ぐための資金作りだったのです。

現在は月50万円～100万円を安定して稼げればよいと思っていますので、毎日あせらずにコツコツとトレードを繰り返しています。本書では、今の私の安定的なトレード手法をお伝えしていこうと思っています。

3) チャートの研究は欠かせない

第1章で詳しくお話ししているように、私は「Gina MA」という独自のインジケーターからの乖離を狙った逆張りでトレードしています。簡単にいえば、レンジ相場の際に利益が出しやすい手法です。逆に、トレンドが発生してしまった場合には様子見になります。

手法自体もとてもシンプルです。乖離ライナーという、これも独自のインジケーターを使います。乖離ライナーには、ボリンジャーバンドのように、上のラインと下のラインがあります。やり方としては、逆張りですので、上のラインを上抜けしたら売りエントリーの準備、下のラインを下抜けしたら買いエントリーの準備ととらえてください（詳しくは第1章で解説します）。

私の手法は逆張りですので、レンジ相場では威力を発揮しますが、トレンド相場では様子見となることが多いのです。そして、トレンド相場か（勢いがあるか）、レンジ相場か（勢いがないか）を知るには、チャートの研究も大切です。

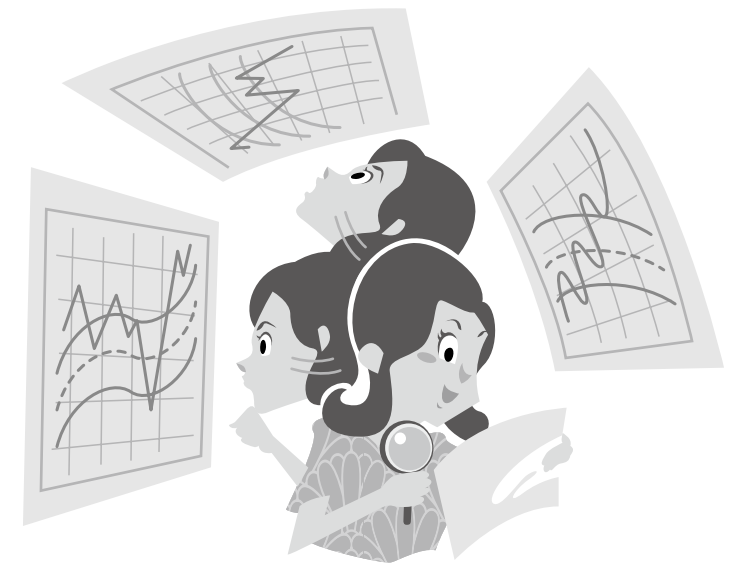
とにかく時間さえあればチャートを見て、通貨ペアごとのクセや動き、トレンドが出たときの流れやレンジ相場の際の流れに慣れてください。慣れるまでは必ずデモトレードで練習することをお勧めします。すぐに実戦に入らないほうがよいと思います。

私はセミナーなどもしていますので、「トレンドが出たか否かはどうかやって判断するのですか?」とよく質問されます。でも、そこは言葉では表現しにくい部分であるのも事実なのです。こればかりは、長期間チャートを見て、パターンデータを自分の頭の中に蓄積していくしかないと思います。

もちろん、本書の中で私の好きなパターンなどはお伝えしますが、一番は自分の目で見て、自分の頭で考えてみるのだと思います。人によって、それぞれ得意なパターンは異なりますので。

メタトレーダーならば、過去のチャートも簡単に見ることができま

す。また過去のチャートを実際に“今、相場が動いているか”のように動かすことも可能なのです。ということは、検証（＝観察）もしやすいのです。「自分のエントリーしようと思った時点から、その後、どういう動きになったのか」について見るだけならば、高度なシステムがなくても、手作業によって目で追うだけでもできるはず。「うまくいく確率はどのくらいありそうか」「最大ドロウダウンはどのくらいか」など、過去の動きを観察すれば、見えてくることが多いと思います。そのなかで、「このチャートの形のときはこういう方向になりやすい」ということもわかってくるはず。こういう作業をしないで、いきなり実戦に臨んでも勝てるはずがありません。それは、私の失敗談を見れば明らかですよ。



「チャートの研究」は、やりすぎることはありません

正直に言えば、トレンドが出る瞬間なんて、私にも大まかにしかわかりません。はずれることもあります。ですから、そんなに重要視もしていません。

問題なのは、レンジ相場だと思って入ったのにトレンドが出てしまったら「どうするのか」だと思います。本書では、そのことについても詳しくお話ししていきます。

ある人の成功した手法があったとして、それを真似した人が全員勝てるかという、そんなことはありません。勝てない人も出てきます。結局、合う or 合わないがあるのです。

もちろん、誰かの真似がいけないとは言いません。「勝てれば」、真似てもいいのです。ただ、真似をしながらも、自分に合うようにアレンジしていくことが大事だと思います。

相場は生き物ですから、時間とともに動きは変わります。それに合わせて、こちらも変えていくしかありません。例えば、そのときどきの相場の動きを見ながらパラメーターを変えていくこともひとつの方法です。乖離ライナーで言えば、上のラインと下のラインの乖離幅をいじることで、そのときどきの動きに合った設定にしていくなど、自分の頭で考えながら変化に対応していくことが大切なのです。

とにかく、100%他力本願ではいけません。「誰かの真似をしてすべてOK」だったら、世の中、きっと成功者だらけです。そうなっていないのはなぜなのか。そこは、読者のみなさんにぜひ考えていただきたいことだと思います。

本書で私がお伝えするのはあくまでも基本（土台）作りです。その基本をどうやって自分色に染めていくかは、個人個人の才能や環境、好みに左右されていくと思います。もちろん、疑問に感じるがあれば、時間の許す限りお答えしていくつもりではありますが、最後の最後は皆さんの頑張りに掛かってくるかと思っています。

怖い言い方をすれば、お金の奪い合いがFXの世界なのです。

誰かが負けているから誰かが勝てる。そのことに気づいていない方が多いと思います。自分の大切なお金を守るためには、それなりの覚悟がなければいけないと私は思います。



見ず知らずの誰かたちとお金を奪い合う世界がFXです。自分のお金を誰かに奪われたいくなければ、その対策をきちんとしなければいけません。最終的に、自分のお金を守れるのは自分だけです

4) あきらめずに続けること

今でこそ、コンスタントに利益を上げられるようになりましたが、ここにくるまではいばらの道でした。努力に努力を重ねたことについてはお話ししたとおりですが、実際は「こんなに努力しているのに、どうして勝てないのだろう」と泣きそうになったこともありました。勝てなくてソファーにマウスを叩きつけたこともありました。5万円を40万円程度まで増やしたのに、調子に乗って無理な枚数をかけすぎて、一日でロスカットになってしまったこともありました。

でも、FX以外にやりたいこともなければ、チャレンジする気にさせてくれるものもなかったのが、次第にその苦労さえ苦労だと思わないようになってきました。損を出すことはあっても、それが苦痛にならないくらい楽しくなってきたのです。だって、それだけの損失が簡単に出てしまうということは、逆にそれだけ利益も簡単に出せるということだ、と思ったからです。私は、そのくらい熱中してできることを見つけられたことが幸せだったのです。いや、「絶対に勝てるようになってやる!!」と意気込んでいる自分が好きだったのかもしれませんが。

私は自分の直感を大切に生きていますので、やりたくないことは一切やらない性格です。その代わり、「やりたい!」と思ったことについては本気で集中してやり続けます。『私はFX専門トレーダーになる』と決めたときから、まるで人が変わったようにFXにのめり込みました。そして、現在も生活の中心はFXなのです。

FXで勝ち残れるのはほんの一握りだといわれています。でも私はその一握りの人間になれると確信していました。なぜなら私はそうなれるまでやめないからです! たぶん「ほとんどの人はすぐあきらめてしまうからうまくいかないのではないかな」と、私は思います。

資金は少しずつでもよいわけですから、勝てるまで続ければよいのです。そうすれば勝ち残れます。そのためにも、やはりFXの本質を

知ってから参加してほしいと思います。

今、FXをやめようと思っている方や、これから始めようとする方に私がひとつだけ言うとしたら「継続は力なり」です。春香流に言えば「勝ちたきゃ続けろ!」です(笑)。



あきらめずに一歩ずつ階段を上ってください。本当に勝ちたいのならば、勝つまでやめないことです。そう思いながら、私(春香)も階段を上っています

◎本書の構成

本書『行き過ぎを狙う乖離トレード』では、「乖離トレードとは何か」「乖離トレードとは実際にどうやるのか」を順序よく知っていただくために、以下の3部構成になっています。

第1部 手法編（第1章～第4章）

ここでは、乖離トレードの概要（基本情報）についてお話ししています。著者が独自で作成して使用しているインジケーター（Gine MA と乖離ライナー）をどのように利用していくのか、エントリーとエグジットはどのようなステップ（考え）で進めていくのか、インジケーターのダウンロード手順、レンジ相場時の建玉操作とトレンドが発生してしまったときの建玉操作について、資金管理、検証のやり方など、乖離トレードに必要な情報を余すことなく紹介しています。

第2部 メンタル編（第5章～第6章）

手法だけでなく、考え方やメンタルもとても大事な要素です。そこで、第2部では、セミナーなどを通じた多くの人との出会いの中で感じた「うまくいかない人に共通する考え」と、私が実際に行ってきたメンタル強化について解説しています。

第3部 実戦編（第7章～第8章）

乖離トレードが何かを知っても、実際の例がなければ、実感としてなかなか理解しにくいと思います。そこで第3部では、実際のトレードを日誌形式で紹介しています。エントリーのときに何を見ているのか、何を考えているのかなどに注意しながら参考にしてみてください。

私の乖離トレードは一度に大きく利益を狙う手法ではありません。10 pips 前後を繰り返し取っていく形になります。その分、複雑なことを一日に何回も繰り返すのは厳しいですから、内容自体もとてもシンプルなものになっています。難しく考えずに、チャレンジしていただけたら嬉しく思います。

序章

- ある日(2011年2月8日)のトレード…………… 2
- 私とFXとの出会い ~18歳のチャレンジ~ …… 4
「私にもできるかも」と思って飛び込んだFXの世界／資金がどんどん減っていく……
- 試行錯誤の連続の中で見えてきたもの…………… 10
引きこもり時代の始まり／結果が目に見えてくるようになってきた／チャートの研究は欠かせない／あきらめずに続けること

第1部 手法編

第1章 行きすぎを狙う乖離トレードの基本情報

- 1 乖離トレードについて…………… 30
乖離トレードとは／事例紹介／乖離トレードに必要なもの／GMA(Gina MA)について／乖離ライナーと乖離幅[13pips]の理由について／このパラメーターを決めるまでの試行錯誤の道のり
- 2 乖離トレードのエントリーについて…………… 39
ステップ1:乖離ライナーにタッチしたらエントリーを検討／ステップ2:勢いを確認(ローソク足の実体の長さなどに注目)／ステップ3:ローソク足や形(フォーメーション)を確認／ステップ4:エントリーするときは落ち着いて／なぜ乖離ライナーへのタッチ後に勢いを見るのか
- 3 乖離トレードのエグジットについて…………… 45
リミット13pips、ストップ100pips が基本／なぜマーチンゲールを採用したのか
- 4 GMAと乖離ライナーのダウンロードと設定について…………… 47
- コラム:逆張りとは順張りについて…………… 60

第2章 乖離トレードの建玉操作

- 1 通常時(レンジ相場)の建玉操作…………… 66
エントリーした後はリミットまで待つ／「ちりも積もれば山となる」の精神で繰り返す

- 2 エントリー後にトレンドが発生してしまったときの建玉操作…………… 68
一方向に価格が進んでしまったときに考えることは3つ／ストップまで進んでしまったら「マーチンゲール」の番／勢いを見ることが大切／ストップ100pipsの意味とは／マーチンゲールの限界回数に達しても駄目なときは

- 番外コラム:上級者編…………… 77
ストップに進むまでの間にチャンスがあれば一時的な両建てを狙うことも「あり」／マーチンゲールのときも両建ては「あり」／順張りでもエントリーできるパターン／順張りのときに意識しているチャートパターン／重要ポイント

重要コラム (辛口コラム) マーチンゲールは本当に危険なのか?

85

第3章 大事な資金管理について

- 1 負ける人は資金管理ができていない…………… 92
- 2 資金管理マニュアル…………… 96
- 3 「手法に慣れるまでは資金は少なく」が鉄則…………… 100
- コラム:複利で運用しないで資金が増えたら出金しましょう…………… 104

第4章 乖離トレードを実践するうえでの留意点

- 1 通貨ペア選びについて…………… 108
通貨ペア選びの基本／ひとつの通貨で入っているときはほかの通貨には入らない
- コラム:私がポンドドルを選んだ理由…………… 111
- 2 FX業者選びについて…………… 113
スプレッドの小さい会社を選ぶ／レバレッジ規制にどう対応しているか
- コラム:海外口座のメリットとデメリット…………… 117
- 3 脳内トレードのススメ ~検証(バックテスト)について~…………… 118
ストラテジテスターの設定／ヒストリカルデータの取得方法

第2部 メンタル編

第5章 失敗する人に共通する考え方とは

- 1 第5章の話始める前に…………… 136
- 2 失敗のパターン その1 ～手法にこだわりすぎる～…………… 138
- 3 失敗のパターン その2 ～勢いよりもインジケータを重視している～…………… 140
- 4 失敗のパターン その3 ～ルールを細かく作り過ぎている～…………… 142
- 5 失敗のパターン その4 ～妄想に取りつかれた他力本願な考え～…………… 144
- 6 失敗のパターン その5 ～ローソク足(勢い)を意識していない～…………… 146
- 7 失敗のパターン その6 ～基本を忘れてしまう～…………… 149
- 8 失敗のパターン その7 ～情報に惑わされている～…………… 151
- 9 失敗のパターン その8 ～気づかないうちに責任転嫁している～…………… 153
- 10 失敗のパターン その9 ～リラックスできていない～…………… 155

第6章 私が実践してきたメンタルの鍛え方

- 1 最後の最後はメンタルで決まる…………… 158
- 2 私が実践してきた「メンタルトレーニング」…………… 160
枚数を少しずつ上げてみる／早く利食いしてしまうことを我慢する／利を伸ばしてみる
- 3 勝ち組のマインドを学ぶには…………… 165

第3部 実戦編

第7章 10万円からの挑戦と実践者の体験談

- 1 10万円を1カ月でどのくらいまで増やせるか！…………… 168
- 2 Aさんご夫婦の体験談…………… 174

第8章 2011年1月のトレード日誌(1カ月間のトレード)

- 1 2011年1月7日のトレード日誌…………… 180
 - 2 2011年1月10日のトレード日誌…………… 188
 - 3 2011年1月11日のトレード日誌…………… 198
 - 4 2011年1月12日(～14日)のトレード日誌…………… 208
 - 5 2011年1月17日のトレード日誌…………… 218
 - 6 2011年1月18日のトレード日誌…………… 226
 - 7 2011年1月21日のトレード日誌…………… 238
 - 8 2011年1月24日のトレード日誌…………… 244
 - 9 2011年1月25日のトレード日誌…………… 248
 - 10 2011年1月27日のトレード日誌…………… 252
 - 11 まとめ(取引明細紹介)…………… 258
- あとがき…………… 262

